

2014年12月11日

音楽情報誌『CD & DLで一た』発表。
「2014年1番思い出に残っている曲」ランキング。
第1位は「レット・イット・ゴー～ありのままで～」松たか子

2014年も残りわずかとなってきました。株式会社KADOKAWA エンターブレイン ブランドカンパニーの音楽情報誌『CD & DLで一た』（編集長：松林大介）は、10～60代の男女を対象とした、「2014年1番思い出に残っている曲」ランキングを発表します。
 （調査期間：2014年11月10日～11日）

●あなたが今年1番思い出に残っている曲は？ 総合ランキングTOP20

設問：2014年に発売された作品の中で、あなたが1番思い出に残っている曲はなんですか。
 ※曲名とアーティスト名、またその理由やエピソードもあわせて教えてください。

有効回答者数 n=3087人

	曲名	アーティスト名
1	レット・イット・ゴー～ありのままで～	松たか子
2	麦の唄	中島みゆき
3	レット・イット・ゴー～ありのままで～	May J.
4	GUTS!	嵐
5	ひまわりの約束	秦基博
6	東京 VICTORY	サザンオールスターズ
7	にじいろ	絢香
8	Dragon Night	SEKAI NO OWARI
9	ハッピー	ファレル・ウィリアムス
10	ゲラゲラポーのうた	キング・クリームソーダ
11	心のプラカード	AKB48
12	ラストシーン	JUJU
13	Darling	西野カナ
14	オモイダマ	関ジャニ∞
15	NIPPON	椎名林檎
16	何度目の青空か？	乃木坂 46
17	ようかい体操第一	Dream5
18	ローラの傷だらけ	ゴールデンボンバー
19	R.Y.U.S.E.I.	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE
20	他人の関係 feat. SOIL&"PIMP"SESSIONS	一青窈

【今回の調査結果について】

2014年も残りわずか。イベント盛り沢山の年末年始に向け、気持ちも街もざわついてきました。今回『CD&DLで一た』では、10～60代の男女を対象とした、「2014年1番思い出に残っている曲」というテーマでアンケート調査を行いました。

総合ランキング1位は、「レット・イット・ゴー～ありのままで～」(松たか子)です。説明の必要もないほどの大ヒット映画、「アナと雪の女王」劇中歌。いろいろな方に歌われた楽曲で、映画もサウンドトラックも大ヒット。今回の調査でも、女性を中心に、幅広い層の圧倒的な支持を集めました。ランキングの3位には、May J.によるエンドロール版もランクインしており、まさに2014年を象徴する楽曲のひとつであるといえます。そして総合2位は、「麦の唄」(中島みゆき)。こちらも話題となっている朝の連続テレビ小説「マッサン」の主題歌で、特に60代からの高い得票を集めました。

全体的な傾向として、2014年はヒットした映像作品のテーマ楽曲がその作品とともに人々の心に残ったというケースが目立ちました。寄せられたコメントの多くも、その作品の思い出にまつわるものでした。以下、総合5位「ひまわりの約束」(秦基博)は3DCG映画「STAND BY ME ドラえもん」の主題歌、7位の「にじいろ」(絢香)はやはり朝の連続テレビ小説「花子とアン」の主題歌、10位の「ゲラゲラポーのうた」(キング・クリームソーダ)と17位の「ようかい体操第一」(Dream5)は、ともにアニメ「妖怪ウォッチ」のオープニング&エンディングテーマです。

また、映像作品ではありませんが、14位の「オモイダマ」(関ジャニ∞)は「熱闘甲子園」、15位の「NIPPON」(椎名林檎)はサッカー関連番組と、どちらも強く印象に残るイベントのテーマソングとなっていました。

そのほかの楽曲では、「東京 VICTORY」(サザンオールスターズ)が総合6位にランクインしました。1年ぶりのニューシングルとあって、“久々の新曲でうれしい”といったコメントをはじめ、“元気がでる・素晴らしい応援ソング”といったコメントが寄せられ、国民的人気グループへの期待に見事応えた楽曲といえるのではないのでしょうか。さらに9位には、まさに“聴くだけでハッピーになれる”という「ハッピー」(ファレル・ウィリアムス)がランクイン。日本のマーケットではしばらく洋楽が低迷していましたが、こういった「楽曲勝負」の作品も上位に挙がってきているのはうれしい限りですね。また、18位の「ローラの傷だらけ」(ゴールデンボンバー)は、昨今のCDプロモーション手法の柱でもある「特典」の類を一切廃し、音楽だけ売るといふ、いわば「勝負」が話題となりました。彼らのその心意気に感じ入ったファンも多かったと思いますが、こうして人の心に残る楽曲となったようです。

男女別の傾向では、「東京 VICTORY」(サザンオールスターズ)、「ハッピー」(ファレル・ウィリアムス)、「心のプラカード」(AKB48)といった楽曲が男性の支持を集め、その一方、「GUTS!」(嵐)、「にじいろ」(絢香)、「Darling」(西野カナ)といった楽曲は女性からの得票が高い結果となりました。ただ全体的には、多少の違いはあれども、性別や世代別でランクインしている楽曲に大きな違いはなく、ヒットした映像作品などに寄り添うものを、今年の印象とともに挙げている方が多かったようです。しかしそれも、そもそも楽曲に魅力があってこそ！の相乗効果だといえるでしょう。

さて、今年1年間を通して、みなさんにとって心に残る思い出の1曲は何だったのでしょうか？
そして迎える2015年。どんな楽曲が生まれてくるのか、今から楽しみになってきました。

— CD & DLで一た編集部 —

※本ランキングは2014年に発売された作品を対象とし、作品のリリースタイミングについては、日本国内盤がリリースされたタイミングをカウントしています。

※「レット・イット・ゴー～ありのままで～」の曲タイトル表記については「アナと雪の女王 オリジナル・サウンドトラック -デラックス・エディション-」を参照しています。

【調査概要】

調査対象：自社で運営する eb-i の20万人のパネルを基に、全国47都道府県の10歳から69歳までのエンタメ接触ユーザーを抽出し、3087人(男性1448人、女性1639人)から回答を得た。

調査手法：インターネットによるWeb調査

調査期間：2014年11月10日～11日

【eb-iとは】

『eb-i(Entertainment Business Insight)』は、株式会社KADOKAWA エンターブレイン ブランドカンパニーが2013年1月より週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査です。保有している全国20万パネルから週次で1万超を回収し、エンターテインメント分野の実態を調査・分析しています。

【『CD&DLで一た』について】

創刊27年目となる、“音楽がもっと好きになる”音楽情報誌(奇数月14日発売)。J-POPを中心としたアーティストのロングインタビューやコラムなど、様々なコンテンツを取り扱っています。

次号は2015年1月14日に発売予定です。

CD & DL で一た



ミュージシャン応援音楽マガジン
CD&DLで一た



ダンス&ボーカルボーイズグループ専門誌
BOYS ON STAGE



“面押し”ガールズコレクションブック
My Girl

株式会社KADOKAWA
エンターブレイン ブランドカンパニー

KADOKAWAオフィシャルサイト：<http://www.kadokawa.co.jp/>

エンターブレインオフィシャルサイト：<http://www.enterbrain.co.jp/>